

令和4年度第1回日進市総合教育会議 議事録

日 時 令和4年12月28日(水) 午後2時00分から午後3時40分まで
 場 所 日進市役所本庁舎4階第1会議室
 出 席 者 近藤裕貴(市長)、岩田憲二(教育長)、小林秀一(教育長職務代理者)、
 藤井美樹(教育委員会委員)、伊藤志門(同)、市来ちさ(同)、武田立史(同)
 欠 席 者 なし
 事 務 局 萩野一志(総合政策部長)、岩瀬雅哉(同部調整監)、
 小出誠二(同部次長兼企画政策課長)、白木誠(同課課長補佐)、
 山浦勝義(同課企画経営係長)、石川達也(同課同係主査)
 説明の為に 加藤誠(学習教育部長)、大津正仁(主任指導主事)、
 出席した者 與語隆弘(同部次長兼生涯学習課長)、蟹江砂織(図書館長)
 傍聴の可否 可
 傍聴の有無 有(5名)
 次 第 1 開会
 2 あいさつ
 3 議題
 (1) 校内ハートフレンドの設置について
 (2) 図書館運営の現状と今後の展開について
 配付資料 資料1 校内ハートフレンドの設置について
 資料2 図書館運営の現状と今後の展開について

発 言 者	内 容
	1 開会
	2 あいさつ
	3 議題
	議題(1) 校内ハートフレンドの設置について (2) 図書館運営の現状と今後の展開について
市 長	議題(1)について説明をお願いします。
学 習 教 育 部	(資料に基づいて説明)
市 長	令和5年度4月1日に校内ハートフレンドが開所するということですか。
学 習 教 育 部	令和5年度4月1日に日進西中学校と日進北中学校で始めます。
市 長	委員の皆さんは校内ハートフレンドをイメージできますか。来春に校内ハートフレンドをオープンさせることについて、心配なことなどはありますか。
委 員	子どもが通いやすい場所を設置して、行きたいと思えるようなところであってほしいと思います。その子たちに合わせて対応するとしても、一人一人違いますし、一人の子でも段階を追って変えていかなければならないと思いますので、先生の負担や専門性が難しいと思います。
市 長	校内ハートフレンドを使うために、いきなりルールを守ってくださいと言えば、学校と一緒にであると思うかもしれませんが。現在のハートフレンドのイメージを学校にもつくれればよいと思います。一人一人価値観が違うから、その

	<p>子たちを尊重して何でも自由にやってもらう、家から出てきて学校にある部屋に来てくれるだけで大成功だと思います。</p>
委員	<p>支援の方針のところに学校への復帰と精神的社会的自立を支援と書いてあります。うちには中学3年間全く行かなかった子がいますが、学校が教室を開放し、その子に合わせたファイルを作ってくれ、先生たちが1時間ごとに代わるがわるに見てくれ、出入りもほぼ自由でした。そのイメージを私は持っています。目標が学校生活に戻すことなのか、社会的に自立してあげればいいのか、場所を提供するのか、日進市のスタンスはどちらでしょうか。学校にあるから行きたくないかもしれないし、学校にあるからまた戻れるかもしれない。その辺の見極めを各校がしていくことがいいと思います。</p>
教育長	<p>学校に抵抗がある子は現在のハートフレンドでいいと思います。学校へも通うことができるのであれば学校のハートフレンドでいいと思います。学校への復帰が全てではないですが、復帰できる子はそのように指導し、そうではない子は来てくれるだけでもよいと思います。我々の意図を学校の4役の方などに理解していただき、何でもありという形にしたいと思っています。ただし、学校によって差は出るかもしれませんが、子どもによっても大きく差が出てくるので試行錯誤しながら日進に合った形にしていけば良いと思っています。一つ大事にしたいのは学び直しは入れたいと思っています。子どもたちと話をすると、やはり学びたい、分かるようになりたいということです。その子に合った計画も方針も個人のファイルをしっかり作って、一人しっかりした先生に入ってもらいながら、その子に合った対応ができるような想定をしています。</p>
市長	<p>そうしますと、実施までに検討すべき課題(1)の校内ハートフレンドの運営ルールは、入室許可手続き不要、制服や持ち物は特にルール無し、来室退室時間は先生がいる間だけ、勉強してもしなくても自由、給食費は食べるなら払ってくださいというくらいなのではないでしょうか。</p>
学習教育部	<p>このルールは、来た子たちの在籍を把握し、どこにいるのか分かるようにする、来たことをみんなが分かるような方法を作り、それをしっかり守ってほしいということです。学習方法についてもその子の段階や能力、習熟度などは様々ですのでその子に合った目標を設定します。何々しなければならないというようなものではなく、その子の安心安全に繋げるためのルールです。学校の中での一人一人の居場所作りについてはみんなが考え、ある程度を目安としての考え方は示せると思いますが、それをやってもらわなければ困るということにならないようにしたいと思っています。外側だけでなく職員に対しての内側にも開かれた学校ではなくてはならないと考えています。</p>
市長	<p>校内にあると午前中普通に授業を受けていた子が、午後は息抜きに校内ハートフレンドに行くことを誘発してしまうという想定はありますか。</p>
教育長	<p>そういう想定はあります。</p>
市長	<p>苦しんでいきなり何か爆発して学校へ行かなくなる前に1回そこで休めということでもあるということですね。</p>

教 育 長	そこで自分の心を見つめるような時間にしてほしいです。そのため、通級指導やスクールソーシャルワーカーやカウンセラーが課題と向き合わせるチャンスを作ってあげたいです。何をやってもいいと言っていますが、担当の先生はその個人個人の課題をしっかりと見て指導をしたいと思います。専門性はかなりいると思いますが、そうやって見ることができる先生になってもらわないと成り立たないです。学校の先生たちや保護者にも考えてもらうチャンスにしたいと思っています。
市 長	学校か家かの二択ではないということです。最近是不登校を扱うニュースが非常に多いです。令和6年には日進高校が不登校特例校となり中学生も受け入れる愛知県の施設になるということです。不登校といっても一人一人違うので校内ハートフレンドによってきめ細かいケアに繋がるといいと思います。小学生も行けますか。東中や日中からも行けますか。
学 習 教 育 部	検討はしています。令和5年度の二つの教室の状況を見てコントロールが必要になると思います。リクエストに対してゼロ回答にならないようにしたいと思っていますが、現時点で運営状況がどうなるかがわからないので、そこでの判断になると思います。
教 育 長	北中は、小中併設ですので竹小の部屋を校内ハートフレンドにしようと思っています。まず小学校の件については真っ先に北中が上手に使ってくれると思っています。西中は現在のハートフレンドが一番遠いので、その距離が原因で躊躇している子が、近くに居場所ができれば足を運んでくれると思います。まず1学期間は周知をし、子どもをしっかり観察して全校バックアップ体制でやりたいと思っています。
市 長	西中には現在空き教室はありますか。
学 習 教 育 部	既存のステップアップルームがあります。
教 育 長	普通の教室プラス廊下くらいの大きさです。
市 長	定員は設けますか。
教 育 長	設けません。
市 長	例えば50人来ても大丈夫ですか。指導者一人に対して何人までしかみられないなどとはなりませんか。
教 育 長	限界はありますが、基本的に集団での人間関係が不得意で不登校になっているケースが多いので、50人はあり得ないと思います。今までには人の目が気になるという、教室の中でパーテーションを自分の前に置いている子もいました。物理的な面積や一人の先生が抱えられる限界はあるのでそういう状況になれば検討することになります。
市 長	想定だけはしておいてください。あまり居場所が良すぎるのも複雑な気がします。楽しいところなら1回行ってみようと、思う子も出てくるかもしれません。
教 育 長	それでも家にいるよりいいと思います。
委 員	ソフト面が大事だと思います。建物や場所は机一つくらいでいいと思います。事業は年度ごとですが、ずっと通して見ることができる監督責任者のよう

	な人材が必要だと思います。良く出来る先生を再任用するのはいいですが、単年度で変わってしまうのはよくないと思います。
教 育 長	単年度ではなく任期付で3年できます。
委 員	日進市内には教育機関が多くあるので、学生さんがヘルプに入ってくれたりすると、その方の勉強にもなると思います。
教 育 長	現場の学校は空いている先生も入ると思います。
委 員	そうすると市長が言われるようにすごく魅力的なクラスになると思います。
市 長	ふさわしい先生はいますか。
教 育 長	先生は公募し、ふさわしい方に担っていただきます。
委 員	例えば資料の方針の2番目に集団への適応力の育成がありますが、集団生活に馴染むためには集団スポーツを取り入れてもらいたいと思います。集団スポーツはお互いに協力し合うので、その中で交流ができコミュニケーションを図っていくようになり集団生活に馴染んでいくと思います。ある意味では訓練になりますが、そういう機会を増やしてもらえばどんどん人間関係ができると思います。
市 長	やりたい子には場所を紹介したり、レクリエーション協会では、軽い遊びのようなことをやったりしている団体もあります。経験してもらうことで委員が言われたようなことに繋がっていくかもしれません。
委 員	スポーツを通じて積極性のような感覚を養われると思います。不得意な人もいるかもしれませんがスポーツを通じてそういう機会が増えていくと良い方向に向き、復帰できる方向へ繋がっていくと思います。
教 育 長	段階的にはかなり高いです。
市 長	体と心は繋がっているので重要なことだと思います。
委 員	指導員は1名ではなく、複数人で見ていただきたいと思います。一人ですと個々への対応が増えると迷いが生じたりすると思いますが、近くに話ができる相手がいるといいと思います。もう一つは保護者の方への対応です。ハートフレンドに行くという事態をどのように伝えるのか、これから入学される方たちにどのように伝えるかで大きく違ってくると思います。保護者としては、やはり従来あるクラスに通ってもらいたいと思いますし、その思いが子どもと違う場合もあると思います。少しさぼって午後に行ったことでも、その保護者には伝えていただきたいです。そういう事実があった事や、保護者と子どもとギャップもあるということを知ることができた方が良かったと思います。
市 長	各学校で先生一人ということですが、ベースとなる人は一人で、現在の総合運動公園でも必ずしも一人で1年間全部見ているのではなく、時々違う指導員もいます。例えばローテーションでこっちへ来たりすればいいと思います。子どももノーチョイスではなくて複数の大人が関わられるようにした方がいいと思います。
教 育 長	逆に同じ人でないといけない子もいますので、先ほど委員が言われたよう

	に、保護者を含めて話し合いの場を何度も持たないとその子に合った形はできないです。
市長	委員が言われた午後ハートフレンドに行ったことを子どもに知らせずに親に知らせるのはいけないと思います。親に知らせる事を子どもは少なくとも知っているべきだと思います。知らせないでくださいと言う子もいるかもしれませんが、親と教育委員会がタッグを組んでいて学校が親に知らせたとなるのはいけないと思います。
教育長	学校が難しいのはそういうところです。
委員	それは私もすごく感じています。保護者の立場からしたら、普通の教室に行っているはずだと思っていたのに違う部屋にいたということは保護者としては気になることですので、その伝え方が大事だと思います。個々の対応になるかもしれませんが、親に言ってよければ言う場合、言わないで欲しいと言われても言う場合など駆け引きもあるかもしれません。
教育長	いじめなどの問題行動だと必ずそうなります。最後は親も本人も学校もみんなが分かった上で将来どうしようかとしめない限り本当の解決にはならないです。様々な過程を通して子どもも保護者も家庭も勉強していただければいいと思います。それも学びの場ですので言うか言わないかの2者択一ではありません。
委員	家庭で子どもと親が話ができる環境があればベストですが、それができないからこそハートフレンドに来る子もいるかもしれません。
教育長	そういうところが学校では一番大変なところです。内緒にしている間に何か起きてしまうと、どうして学校は言ってくれなかったのかとなります。スクールソーシャルワーカーもカウンセラーも守秘義務はありますが、チームとして共有したほうが良いと判断すればそのように対応しますし、それを誰かが漏らすともう二度と大人は信用しないという話になります。委員の言われた事は真摯に受け止めさせていただきます。
委員	だからこそ指導員は一人より複数名必要だと思います。
教育長	担当者は一人ですが、いろいろな人に入ってもらうようにします。一人で抱えると悩み、病んでしまいます。担当者は仲間の先生たちと喋りながら上手に心の整理をして軽くしてあげないといけません。スクールソーシャルワーカーの上にスーパーバイザーを置くのは重い案件をスーパーバイザーに整理してもらってあの人たちが潰れないようにしているのです。それと同じことを学校でも体制をとってチームで子どもたちを温かく指導していきたいと思えます。
委員	数字からすると、不登校、30日休む子が150人、実際に教育支援センターに登録している子が41人、なおかつ平均して毎日行く子が6人弱しかいません。150人から6人引いた144人の子は外に出ていないということを見ると、来年度は学校にこういう部屋があつて、そこへ来てもいいという周知をすることだと思います。中学校の不登校人数は103人、4校で割って1校あたり25人の不登校の子がいる計算です。25人の子がまず西中北中

	<p>のこの部屋なら行ってみようというきっかけになるのが最初の年ではないでしょうか。小学生もそこへ行ければそれに越したことはないです。まず子どもを知らなければいけないですが1ヶ月や2ヶ月では無理です。あまり最初から大きな成果を期待しすぎないほうがいいと思います。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。</p>
委 員	<p>先生が親の対応をするよりも親同士のハートフレンドPTAのような会、ネットワークで後押しした方がいいのではないのでしょうか。そうしたらハートフレンドに出そうかという気になると思います。先生に言われるよりも、親同士で共有したほうがよいと思いますし、それは学区を超えてもいいと思います。</p>
教 育 長	<p>ハッピーステップ井戸端の会という会があります。徐々に機能できるといいと思っています。</p>
委 員	<p>親の会でしたら日進市全域でいいです。良い事例はどんどん共有すればいいと思います。</p>
教 育 長	<p>さきほど委員が言われた不登校の数から支援センターに行っている子の数を引くと、かなりの数の子が家になることになります。家庭にとっては大変なことなのでこれを少しでも軽くしてあげたいと思っています。</p>
市 長	<p>学校に行けるのであれば、その次に何が嫌なのであろうと考えたときおそらく他の子どもたちだと思います。そうすると教室の中に入って復帰するのはさすがに辛い。しかし勉強はしたいとなれば、例えば授業を校内ハートフレンドのパソコンでライブ配信するなど将来的には実施してほしいです。</p>
教 育 長	<p>視野には入っています。</p>
市 長	<p>次のステップとしてはそういう支援もしてほしい。委員がおっしゃるようにはまずはスタートすることに意義があり、これから将来に向けて日進の子どもたちを応援していくということです。その他ハートフレンドについてご意見等はございますか。</p>
市 長	<p>それでは議題（1）はこれまでとします。 議題（2）について説明をお願いします。</p>
学 習 教 育 部	<p>(資料に基づいて説明)</p>
市 長	<p>図書館DXについて説明してください。</p>
学 習 教 育 部	<p>市立図書館と市内の小・中学校の図書館を繋げ、児童生徒のタブレットから市立図書館の資料が検索できたり、タブレットで電子書籍を使ったりできる学校図書館システムと、学校図書館司書同士や、市立図書館司書とコミュニケーションがとれる電子会議システムを導入するものです。</p>
市 長	<p>国はDXを進めるため力を入れており、予算も多く配分すると言っています。そのデジタル化事業を活用して、図書館と学校図書館を繋げ、子どもたちが自分の手で本を検索できることなどが実現可能になるということです。学校図書館で市立図書館にある本をリクエストしたら届くのですか。</p>
学 習 教 育 部	<p>市立図書館から学校への配送便に乗せ、学校図書館から児童生徒さんに届きます。</p>

市長	子どもと図書がDXによって近くなるということです。多くの事業費がかかりますが、日進市としてはそれを実施することとしました。稼働は令和5年度4月からですか。
学習教育部	令和4年度の2月から稼働します。
市長	利用者からのニーズも説明がありましたが、将来的には土曜の夜くらいは遅くまで開館してもいいと思います。次の日はお休みなのももう少しゆっくり図書館を利用したいのではないのでしょうか。そういう部分もこれからの課題だと思います。
委員	玄関ホールの開館時間が土日月祝日で9時から5時となっていますが、玄関ホールとはどこまでですか。
学習教育部	正面から入って左手側の貸館の会議室です。第1月曜日は完全休館ですが、第2月曜日から第4月曜日までは貸館業務だけは部分開館としています。
委員	2階の会議室も開いているのですか。
学習教育部	1階のみです。
委員	正面玄関から入って左側の喫茶は月曜日は開いていないのですか。
学習教育部	開いていないです。
委員	これからの時代にはデジタル化も必要だと思います。今は若い人を中心にファスト映画などが注目されていて、本も先にダイジェストを読んであらすじを知り、間違いないところで読んだり、デジタルで検索してピンポイントで読みたい本を取り寄せたりできることはとても素晴らしいし、私も利用したいと思います。それと同時にアナログも大切にしなければならないと思います。紙媒体の新聞などでは必要なニュース以外の記事も目に入ります。また、ネット通販で本を買うことは便利ですが、本屋さんや図書館に行き目的の本以外の棚もたまたま目に入って手に取ってみることも大切だと思いますので、アナログの取り組みも行ってほしいと思います。先日はビブリオバトルも開催され、選書体験をしたり、おすすめコメントを館内に貼ったりしていますので、そういうところを大事にしてほしいと思います。
市長	例えば、日進には図書館サポーターズというチームがあり本の修理などを上手にやってくれているので、学校の授業の中で子どもたちが本の修理をこの人たちに習って体験することによって、その物を大切にしたりブックの良さを改めて知ったりするようなことを絡ませて、学びにつなげるといいと思います。DXの一方で委員がおっしゃったことは大事にしていかなければなりません。
委員	アナログの部分は大切にしたいと思っています。私の上の子は本が好きで学校図書館で読む本が無くなってしまったほどでした。下の子はあまり本に興味を持てなかったのですが、今になってもう少し本を読んでおけばよかったと言っていました。図書館がもう少し身近であったらよかったと感じています。居住地の関係もあり図書館までの足が遠かったと感じています。くるりんばすの便が悪かったり、駐車場にすぐ止められなかったりということが足が遠のく原因の一つでもあるのでそこも改善の余地があると感じています。

	この図書館のDX推進事業で読みたい図書館の本が手元に届くことはいいと思いますので、小中学生だけではなく、高校生や大人でも希望の本が手元に手が届くような、例えば、本を福祉会館まで届けて受け取れるなどということも考えていただきたいと思います。
学 習 教 育 部	福祉会館での配本事業は行っています。
委 員	行っているのであれば浸透してないと思います。開館時間に関してはピンポイントでもいいので夜間開いていると大人の方たちはありがたいと思います。
市 長	福祉会館は借りることも返すこともできますか。
学 習 教 育 部	予約された本を配本し受け取ることができ返却もできます。
委 員	私も利用しています。
学 習 教 育 部	プライムツリー赤池には返却のみのポストを置かせていただいています。
委 員	知らなかったです。
学 習 教 育 部	私たちのPR不足です。
市 長	これからは図書館職員はさらに忙しくなります。福祉会館だけでなく、学校配本の冊数も増加して行くこととなります。夜間の開館も含めて、市役所だけで出来るのかと思うところもありますので、今後の私達の検討テーマだと思います。現在は、TRC・図書館流通センターに図書館窓口業務を委託しています。また学習室の席を予約制にし、日進市民は他の市民より早く予約できるようにして朝に大渋滞することを解消したりしています。例えば、夜中でも勉強できるように夜遅くまで開いたり、クールシェアとかウォームシェアなどにもフレキシブルに対応したりするなどやらなければならない、ニーズに応じていかなければならないことがたくさんありますので、そうした改革も進めていきたいと思います。その他図書館についてご意見等はございますか。
市 長	それでは議題（2）はこれまでとします。 今日予定していた議題（1）（2）は以上です。
市 長	その他として私から1点よろしいでしょうか。 給食の黙食についていつまでやるのかとお尋ねがあります。今の時期は中学3年生は受験前、小学生も受験の子もいます。国は給食のときも喋っていいと言いはじめっていますが、日進は、まだそうしてはいません。学校の対応もいろいろで、少し大きめの声で喋っただけで注意されたということもあるようです。もっとも問題のあるような注意のされ方ではないとは思いますが、みんなが段々不満に思ってきていると感じています。受験の子たちなどのことを考えて自分が今しばらく我慢しようかと共感することも集団生活の中では大事です。学校側からもそれを伝えてほしいです。先生が言うのだからではなくみんなで考えるということです。静かにすることに協力すると思って黙食するのであればいいですが、全部略して駄目だ、黙ってというようなことはやって欲しくないです。それもその子たちが考える学ぶ機会として捉えてほしいと思います。
教 育 長	学校はきちんと指導しています。市長が言われたように考えさせることが

	<p>大事です。マスク・黙食に関しては、登下校時は喋っています。マスクはしている子もしていない子もいます。放課は密も何もなく遊んでいます。授業もグループ活動では話し合いをしています。そういう中で10分や15分の給食を黙食と言っても他では楽しんでます。黙食することが、一日中子どもたちに我慢をさせて、学校は何をやっているのかという論調になっていることに疑問があります。現場は、基本的な感染対策をとりながらであれば登下校も喋ってもいいなどとしています。感染するからボールを触ってサッカーをやってはいけないと言っていたのが1年目でした。マスクはありますが、その時のように会話が無いわけでもなく、コミュニケーションもとっています。学校は黙食といっていますが、子どもたちは自分たちのルールの中で喋ることはできていて、私たちが考えている以上に考えています。我慢しきれずに性格がおかしくなったとか、表情がなくなったというような黙食はさせていません。その黙食だけを取り上げてニュースにするのは疑問があります。ただ、今の感染力や入試の時期を考えると喋りながら給食を食べていいとは言えません。ご質問があれば説明させていただきます。</p>
市長	<p>黙食をやめさせてくださいと言う方がいれば、まだ続けてくださいという方もいます。本当に学校現場は大変だと思います。</p>
市長	<p>他に皆さんからご意見等はよろしいですか。それでは私の議事進行を終わり事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>これで本日の会議は閉会します。</p>
	<p>(閉会)</p>